

議会に進捗を説明

7月17日、議会全員協議会を開催し、教育委員会から西中学校改築工事基本・実施設計について説明を受けました。本会議で意見の多くあった木造についての見解は示されず、設計はRC（鉄筋コンクリート造）構造とし、木質系内装材を可能な限り使用することとした。説明されたポイントは

- ①木材の使用（地場産材を可能な限り使用したい）
- ②和紙（細川紙）の使用
- ③災害避難所施設としての使用を考慮
- ④省エネルギー化（太陽光発電・雨水利用等）

議会からの要望は

説明を受け、議会側からは下記のような要望をしました。

- 地場産活用（木材、和紙など）は、最大限取り組んでもらいたい
- 工事発注に当たっては、JV（共同企業体方式）、分離発注などで地域経済活性化のための工夫をすること
- 避難所としての機能は、細部にわたって設計にしっかりと盛り込むこと
- 工事管理を厳しくするためにも、工事管理者は設計者と分離して発注すること
- 設計・建築に精通した職員をきちんと配置すること
- 敷地を活かして、特に体育館等建設場所の配置は再考されたい

残念ながら木造化には至りませんでしたが、最大限の木質化をはじめ、議会はよりよい西中学校が建設されるよう、今後もしっかりとチェックしてまいります。

西中学校改築事業
その後の状況は？

町民の声を
町政に

町政をたず

一般質問とは、議員が役場の仕事について、町長の考えや意見を求め、事柄をただしたり、議員や町民の意見などを述べることをいいます。議員1人の持ち時間は75分に定められており、議会だよりでは、このやりとりを要約して報告しています。今議会では、10人の議員が一般質問を行ないました。

一般質問席



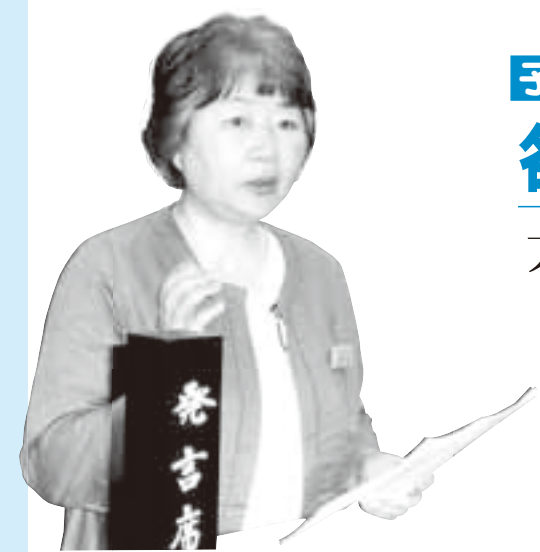
健やかに育って

答弁 健康増進課長 任意接種である水ぼうそう、おたふく風邪ワクチンについては3市1町、ロタウイルスワクチンは2市1町が、助成または助成をすると聞いています。

質問 特にロタウイルスは5歳までに100%かかり、乳幼児の脳炎、脳症の大きな要因となっている。自己負担を1000円とする自治体もある。3万円という高額な接種費用を、せめて他のおたふく、水ぼうそうなどの単価（8000円〜9000円）と同じくらいに引き上げる助成はできないか。

答弁 町長 財政の問題もありますが、子育てと高齢者をできるだけ支援する方向性は持っています。

子育て支援
各種ワクチン接種助成で子育て支援を
方向性は持っています



柳田多恵子 議員

西中の建てかえは木造で

質問 県の指針では、原則として延床面積が3000平方メートル以下の低層の公共建築物は、すべて木造建築とされている。西中の建てかえは木造で、地元事業者を活用し、建設準備委員会を立ち上げ、多様な意見を設計に生かすべきではないか。

答弁 学校教育課長 木造とRC構造（鉄筋コンクリート）で比較検討しています。地場産木材を活用した木質化は基本設計の中に盛り込みます。その都度、必要に応じて説明会は開きますが、委員会は立ち上げません。

その他の質問

◎通学路の安全対策
◎放射能汚染から子どもたちを守る対策

安全・安心のまちづくり
橋りょうの調査結果の公表を
ホームページで公表している

質問

橋りょうの劣化・強度・耐震の調査結果を、住民に公表するべきと思うが、また、危険な橋りょう等があったのか。その場合の対策は。

答弁 建設課長 町内河川にかかる15メートル以上の橋の調査結果は、町のホームページに公表しています。また、今回の調査では、安全性の観点から緊急に対応が必要な箇所はありませんでした。「長寿命化修繕計画」を策定し、予防的な修繕、計画的な修繕、かけ替えへと



宮澤幹雄 議員

質問 災害時の情報収集として、庁舎内の非常用回線を含んだ回線数は、また、新事業として「防災情報メール配信サービス」の構築と開始時期は。

答弁 総務課長 回線数は36回線です。非常回線として光とアナログを2回線ずつ確保しています。防災情報のメール配信サービスは、導入に向けて

質問 各行政区の区長さんは、自主防災組織に積極的に取り組んでいる。いつ起こるか分からないからこそ急ぐべきと考える。現状と今後の行政区の指導は。

答弁 総務課長 区長研修会、防災講座等の啓発活動に取り組み、現在自主防災組織は26団体となり、世帯数から算出する組織率は、4・9ポイント増えて44%となりました。今後も結成に向けて助言と工夫をし、向上に努めます。

その他の質問

◎土砂災害防止法に基づく基礎調査



役場電話交換室